

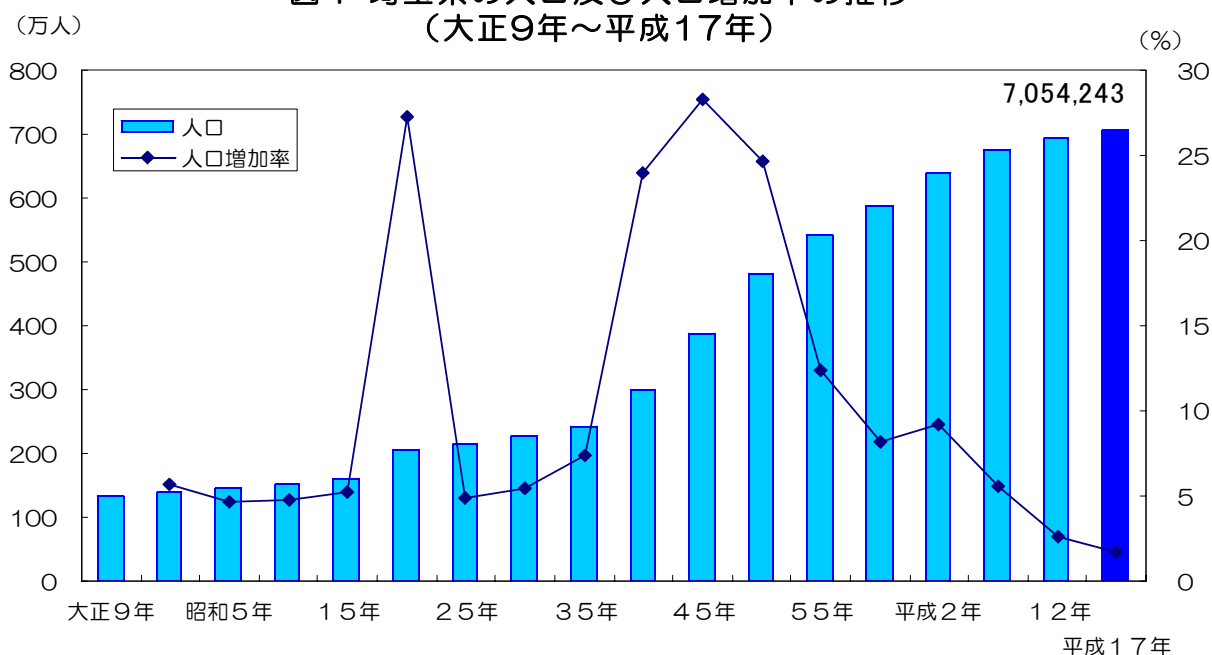
平成17年国勢調査 第1次基本集計結果 ～埼玉県概要～

1 人口

人口は、平成12年と同じ全国第5位の 7,054,243人となった。

- (1) 総数 7,054,243人(前回調査比 116,237人増、1.7%増)
- (2) 男性 3,554,843人(前回調査比 54,619人増、1.6%増)
- (3) 女性 3,499,400人(前回調査比 61,618人増、1.8%増)

図1 埼玉県の人口及び人口増加率の推移
(大正9年～平成17年)



注) 昭和20年は人口調査(11月1日現在)による人口

2 年齢別人口

15歳未満人口(年少人口)は、昭和45年以降初めて 100万人を割り込んだ。

15～64歳人口(生産年齢人口)は、大正9年の第1回調査以降増加を続けてきたが、初めて減少に転じた。なお、割合は前回に引き続き全国第1位である。

65歳以上人口(老年人口)は、初めて100万人を超えた。また、県人口に占める割合は、第1回調査以降初めて15歳未満人口の割合を上回った。

- (1) 15歳未満人口 986,361人(県人口の14.0%)
- (2) 15～64歳人口 4,892,253人(県人口の69.4%)
- (3) 65歳以上人口 1,157,006人(県人口の16.4%)

図2 年齢（5歳階級）、男女別人口（平成17年）

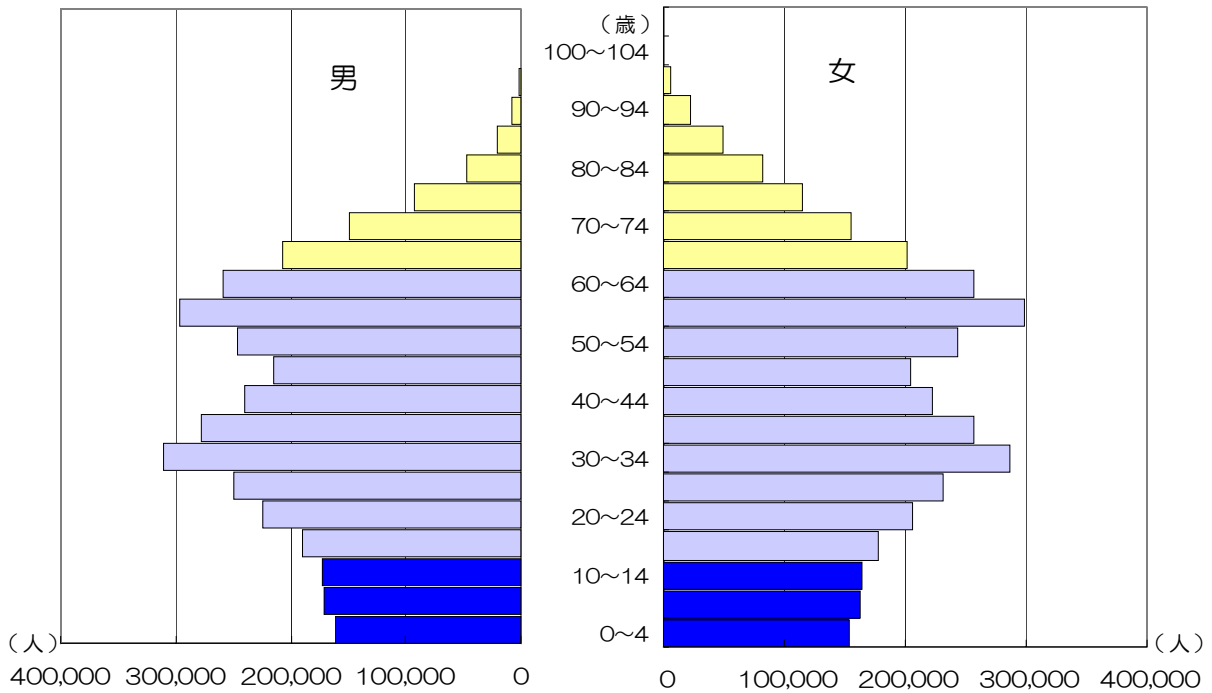
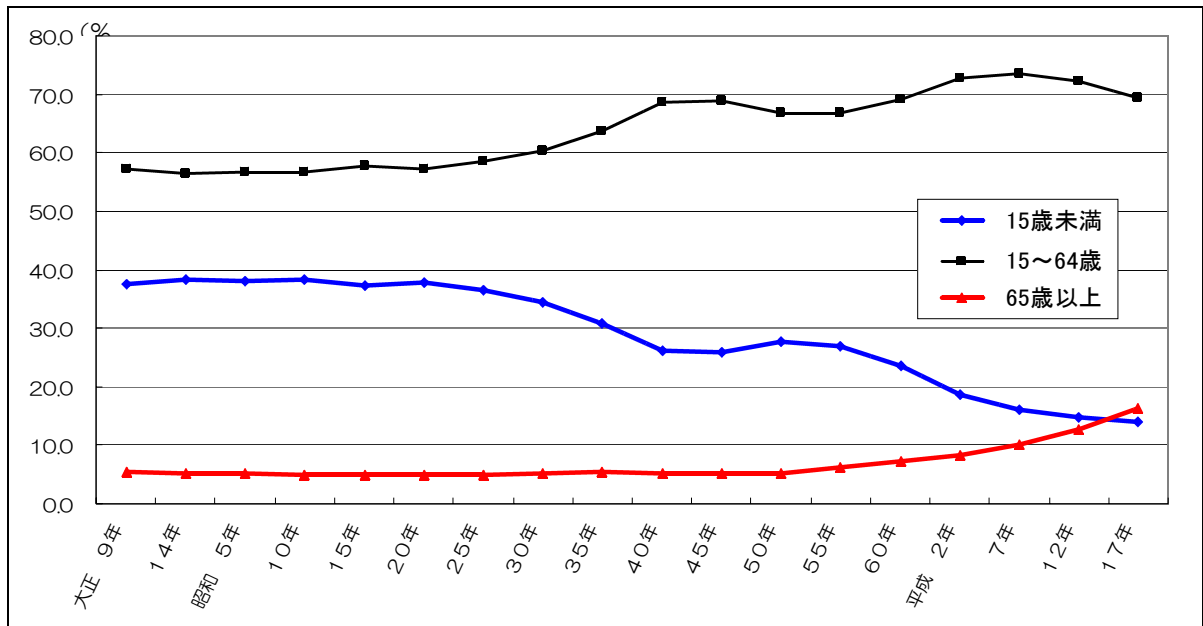


図3 年齢（3区分）人口割合の推移（大正9年～平成17年）



3 平均年齢

平均年齢は、平成12年の39.6歳から2.2歳上昇し41.8歳となった。全国順位は、平成12年の全国第2位から第4位に下がった。

4 一般世帯の1世帯当たり人員

1世帯当たり人員は、平成12年の2.78人から2.64人に減少した。

5 一人暮らし高齢者数

一人暮らし高齢者(65歳以上の単独世帯)は143,923世帯であった。
高齢夫婦世帯は209,242世帯であった。

(注) 高齢夫婦世帯とは、夫が65歳以上、妻が60歳以上の夫婦1組の一般世帯

6 外国人人口

外国人人口は平成12年と同じ全国第6位の80,035人であった。
平成12年に比べ17,624人、28.2%増加した。

7 持ち家率

一般世帯の持ち家率は、平成12年に比べ1.7ポイント増の66.3%となった。
1世帯当たり延べ面積は、平成12年の83.6㎡から84.5㎡と広がった。

8 市町村の概要

市町村を人口規模別にみると、人口110万人台が1市、人口40万人台1市、人口30万人台3市、人口20万人台が3市、人口10万人台が11市、人口10万人未満が59市町村となった。

平成12年(組替)と比較して、人口が増加した市町村は29市町で、減少した市町村は49市町村です。また、世帯数は75市町村で増加し、3市村で減少した。

(1) 人口

人口は、さいたま市の1,176,314人がトップで、以下川口市480,079人、所沢市336,100人、川越市333,795人、越谷市315,792人と続いている。

上位10市は、平成12年(組替)と顔ぶれは変わりませんが、所沢市が川越市を上回り3位となった。

(2) 人口増減数

人口増加数では、さいたま市43,014人増がトップで、以下川口市20,052人増、草加市11,298人増と続いており29市町で増加した。

一方、人口が減少したのは、狭山市3,386人減、秩父市3,312人減、三郷市2,769人減など49市町村となった。

(3) 人口増減率

人口増加率は、滑川町の20.2%増が最も高く、以下伊奈町13.4%増、和光市9.3%増、戸田市8.0%増、鳩ヶ谷市7.0%増、吉川市6.4%増、松伏町6.3%増、栗橋町5.9%増、草加市5.0%増の9市町で5%以上増加した。

一方、人口減少率は神泉村の9.5%減が最も高く、以下東秩父村7.9%減、都幾川村6.2%減、鳩山町6.0%減、皆野町5.6%減、小川町5.1%減の6町村で5%以上減少した。

(4) 年齢別人口

ア 年少人口(15歳未満人口)

総人口に占める割合を市町村別にみると、松伏町が16.4%と最も高く、以下伊奈町(16.2%)、戸田市(16.2%)、上里町(16.1%)、吉川市(15.9%)となった。

一方、年少人口の割合の低い市町村は鳩山町が10.1%と最も低く、以下神泉村(10.4%)、宮代町(11.3%)、毛呂山町(11.4%)、東秩父村(11.7%)となった。

イ 生産年齢人口(15~64歳人口)

総人口に占める割合を市町村別にみると、鶴ヶ島市が73.3%と最も高く、以下鷲宮町(72.5%)、和光市(72.4%)、三郷市(72.3%)、戸田市(71.7%)となった。

一方、生産年齢人口の割合の低い市町村は神泉村が58.5%と最も低く、以下東秩父村(60.1%)、小鹿野町(60.4%)、秩父市(60.8%)、皆野町(61.1%)となった。

ウ 老年人口(65歳以上人口)

総人口に占める割合を市町村別にみると、神泉村が31.1%と最も高く、以下東秩父村(28.2%)、小鹿野町(26.7%)、皆野町(26.4%)、秩父市(24.9%)となった。

一方、老年人口の割合の低い市町村は和光市が11.9%と最も低く、以下戸田市(12.0%)、鶴ヶ島市(12.6%)、吉川市(13.5%)、朝霞市(13.6%)となった。

(5) 平均年齢

平均年齢を市町村別にみると、神泉村が50.2歳と最も高く、以下東秩父村48.2歳、皆野町47.1歳、小鹿野町46.6歳、鳩山町46.4歳となっています。

一方、平均年齢の低い市町村は戸田市と和光市が38.3歳と最も低く、以下朝霞市39.4歳、伊奈町39.9歳、鶴ヶ島市40.2歳となっています。